情報公開文書

2018年6月から2019年6月までの間に、京大病院で頸椎CT検査を受けられた患者さんへ患者様の過去の情報を用いて下記の研究を行います。

1. 研究の名称

モデルベース逐次近似再構成法を用いた低線量頸椎CTの臨床的有用性に関する研究

2. 研究の目的

本研究の第一の目的は、当院に導入されている、モデルベース逐次近似再構成法を用いた放射線被曝量の低い頸椎CTが、旧来のCTに比較してどれだけ放射線被曝量を低減したかを明らかにすることです。第二の目的は、この低線量CTの画質を主観的及び客観的画質指標を用いて評価し、その有用性を明らかにすることです。これらを明らかにすることで、低線量頸椎CTの撮影プロトコルが普及し、患者さんの医療関連被曝を大幅に減らすことが期待できます。

3. 研究内容の概要

京大病院で過去に撮影された頸椎CTを用いて、放射線被曝量や画質を評価し、旧来のCTと新しい低線量CTとで比較します。

4. 研究期間

倫理審査承認日から2年間とします。

5. 倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。

6. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究責任者・藤林俊介:京都大学大学院医学研究科 運動器機能再建学講座・特定教授

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

京都大学病院で2018年6月から2019年6月までに低線量頸椎CTを受けられた20歳以上の患者さんを電子カルテ上で抽出し、このうち低線量CT撮影の日から過去2年以内に従来の通常線量頸椎CTも撮影された患者さんを対象とし、そのCTを使用して評価を行います。今回の研究で得られたデータは国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。その際、ご提供いただいた方の個人情報が増えることはありません。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

カルテデータ(年齢、性別、体重、身長、被ばく線量に関する情報、頸椎疾患)

頸椎CT撮影に伴う被曝量

頸椎CTにおける画質評価指標

9. 試料・情報管理責任者

藤林俊介:京都大学大学院医学研究科 運動器機能再建学講座・特定教授

10. 研究資金・利益相反

研究資金は寄附金・研究助成金等を使用し、外部からの資金提供をうけていません。そのため、外部者が研究運営や論文執筆に関与することはありません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」、「京都大学利益相反マネジメント規定」に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査・管理されております。

11. この研究実施については京都大学整形外科のホームページ上に公表し、研究の参加拒否の申し出があった場合は、その方のデータは利用せず研究対象から除外いたします。他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護などに支障がない範囲内で、研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は下記問い合わせまでご連絡下さい。

12. 研究対象者及びその関係者からの求めや相談等への対応方法

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都大学大学院医学研究科・運動器機能再建学講座 藤林 俊介

(住所)京都市左京区聖護院川原町 54

(電話) 075-751-3666